

歩行型放射線量自動計測システム **KURAMA - m**

放射線自動計測

無線による自動化

リアルタイムに可視化

幅 260mm
奥行 180mm
高さ 50mm

本体

バッテリー

GPSアンテナ

モニター

放射線検出器

ポール

Google earth/mapでの表示例

検出器

本体とモニター

一人で位置データ、放射線量の計測・記録が可能！

KURAMA-m 構成

本製品の製造、販売は京都大学原子炉実験所様、日本ナショナルインスツルメンツ株式会社様のご協力を頂いております。

■ システム概要

KURAMA-mは、生活圏における空間線量率を自動で計測、記録できるシステムです。小規模な機器構成により、計測者が歩行しながら放射線量の測定が可能です。放射線検出器とGPSを用いることで、放射線量と位置情報を連動して記録できます。本体のスイッチ切換により、高精度なDGPS等を外部から接続して使用できます。計測中のデータはリアルタイムにモニター表示することができ、フィールド上でも計測値の確認がスムーズに行えます。計測データはネットワーク経由でリアルタイムに共有でき、マップ上にプロットするなどの表示が可能です。

■ 主な仕様

項目	標準仕様	項目	標準仕様
動作仕様	シンチレータ Csl (TI) 38mm × 38mm × 25mm	測定範囲	0.001 μ Sv/h ~ 10 μ Sv/h
検出素子	MPPC(マルチピクセルフォトンカウンタ)	サンプリング時間	1~60秒設定可能
計数効率	Cs137 : 0.01 μ Sv/hにおいて400cpm以上	物理特性	外形寸法(本体) 260(W) × 180(D) × 50(H) mm
エネルギー範囲	30keV~2MeV	所要電力	電源 9~30VDC(シガーソケットに対応)
エネルギー分解能	8.5% セシウム137 662keV	環境仕様	動作温度範囲 -10~50 $^{\circ}$ C